



なぜ、5歳児健診が求められているのか？

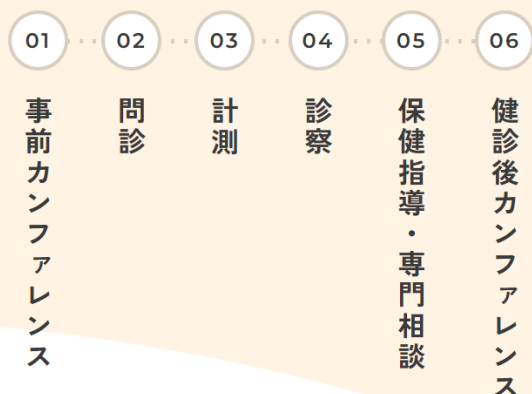
- 5歳児は、言語の理解能力や社会性が高まり、発達障害が認知される時期です。保健、医療、福祉による対応の有無が、その後の成長・発達に影響を及ぼす時期であると言われています。
- 発達障害などを早期に発見して就学前に必要な支援につなげようと、こども家庭庁は5歳児健診の全国の自治体での実施を目指し、自治体への補助を引き上げるなど支援を強化しています。
- 2024年8月時点で、5歳児健診を実施している自治体は15%にとどまっていますが、56.6%の自治体が、今後5歳児健診を開始したいと回答しています。

1歳6か月児、3歳児のほかに5歳児も健診？

- 5歳児は、小学校入学を控え、今後の進路を検討する上で、重要な時期であると言えます。
- 発達障害のあるお子さんへの対応は、教育現場や自治体担当部署にとって、対応が難しい課題の一つとして認識されています。
- 国は、全対象者の健診を実施しなくても、スクリーニングを行った上で早期支援の必要性が高い5歳児を対象にした健診を行ってもよい、としています。
- 早期療育につながったお子さんは、日常生活を支障なく送られるよう、必要な社会的スキルを身に付けていくことになります。

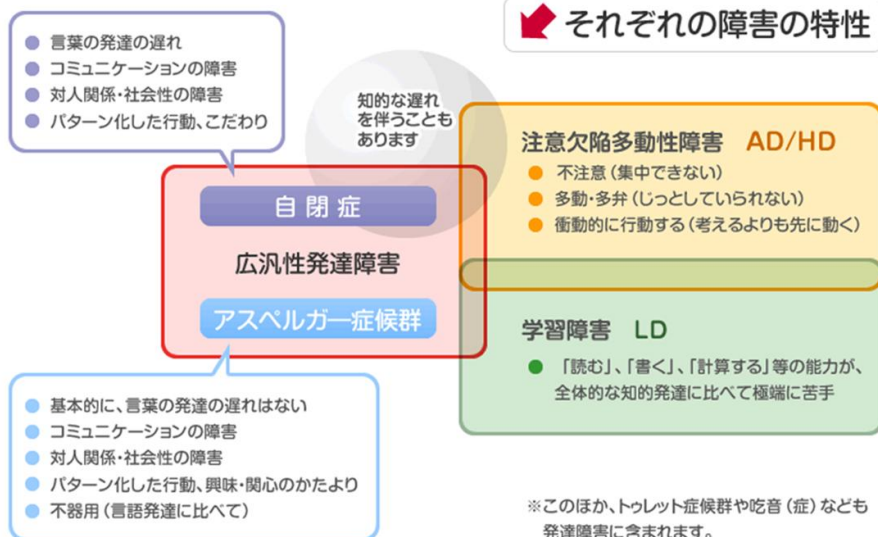
5歳児健診のフロー

FLOW



出典：5歳児健診ポータルサイト

発達障害とは？





ここあぽ

SURVEY RESEARCH CENTER CO.,LTD

5歳児の発達障害のリスクを判定する「ここあぽ」のご提案



5歳児健診や面談、相談等に「ここあぽ」をご利用ください！

- 「ここあぽ」は、株式会社サーベイリサーチセンターが提供する、5歳児の発達障害のスクリーニングのためのWeb調査サービスです。
- 「ここあぽ」は、弘前大学の研究成果に基づく特許を取得したアルゴリズムを実装しており、精度の高いスクリーニングが可能なサービスです。

「ここあぽ」は、ひとことで言うと「発達障害についての問診票」です

①保護者と保育者がWebアンケートに回答



②お子さん1人ひとりに、「個人結果票」を作成

個人結果票

結果の見える方
この結果票は、ご回答いただいたアンケートをもとに作成されています。市町村ごとに、5歳児の平均と比較したものを、以下の図表で示しました。

※結果の見える方
○ 平均より、やや多い傾向がある
○ 平均より、やや少ない傾向がある
○ 平均より、やや多い傾向がある
○ 平均より、やや少ない傾向がある
○ 平均より、やや多い傾向がある
○ 平均より、やや少ない傾向がある

※結果の見える方
○ 平均より、やや多い傾向がある
○ 平均より、やや少ない傾向がある
○ 平均より、やや多い傾向がある
○ 平均より、やや少ない傾向がある
○ 平均より、やや多い傾向がある
○ 平均より、やや少ない傾向がある

活用方法（イメージ）

「ここあぽ」で、できることは？



- 当該年度の5歳児の保護者あてにWebアンケートへの回答を案内
- こどもを担当する教育・保育施設教職員（保育者）へのアンケートを、保護者経由で依頼

保護者



保育者



個人結果票

Web調査システム

5歳児健診・面談・相談等



お子さんのリスクの評価と特性が可視化でき、以後の支援プロセスに役立てていただくことが可能になります

①発達障害のリスク

- 自閉スペクトラム症の傾向
- 注意欠如・多動症の傾向
- 発達性協調運動症の傾向
- 育児ストレスの程度
- 総合的な発達特性（自閉スペクトラム症と注意欠如多動症の併存）
- 吃音症※、チック症※、読み書き障害（学習障害）※

※これらはCLASPIによる評価

②行動の特性

- 家での様子（保護者評価）と、園での様子（保育者評価）の違い
- 苦手なこと、支援や配慮が必要なこと

ご相談・お問い合わせは



株式会社サーベイリサーチセンター
SURVEY RESEARCH CENTER CO.,LTD.

<https://www.surece.co.jp/contact/>

0120-450-831